



なかろくごう

強く正しく美しく みんな仲よし仲六郷

2023年の年頭にあたり



校長 近藤 重善

新年、明けましておめでとうございます。2023年の幕開けです。素晴らしい年にするためには、やはりコロナ終息が世界中の人々の願いであると思います。大きな希望をもって、もう少し、がんばっていきましょう。

さて、今年はいざなぎ年です。いざなぎ年を語る際、その跳び上がる姿から、『飛躍』や『向上』という言葉を使って表現することがあります。まさに、今の世の中にとって、一番求められていることではないでしょうか。

低い方向へと下がっていくことは簡単で、力を入れるのを止めてしまえばよいだけです。しかし、高い方向を目指して飛躍すること、これは急にできることではありません。大きな飛躍のためには、足場をしっかりと整え、膝をしっかりと曲げるといった準備が必要です。

本校では昨年、感染症対策をした上で、65周年記念集會をはじめとした学校行事や校外学習など、積極的に行ってきました。また、学級閉鎖のクラスや、欠席した児童に対して、リモート授業を丁寧に行ってきました。何かと制限はある中でしたが、教職員が力を合わせ、教育活動を止めないという思いで取り組んできました。

12月に実施しました「保護者の皆様による学校評価アンケート」では、各項目で肯定的な評価をたくさんいただきました。これまでの取り組みをご理解していただいた成果だと感じています。また、様々なご意見も、たいへん参考になりました。これからの学校経営に大いに生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

2022年の取り組みにより、足場は整いました。準備は万全です。ぜひ、大きく飛躍の2023年にしていきたいと思えます。昨年同様、本校の教育活動へのご理解とご協力、よろしく願いいたします。

2019年にノーベル化学賞を受賞された吉野彰さんは、幼いころから科学やものづくりに興味をもち、研究開発を続けてきた方です。そして、本羽田の工場の佐瀬都司さんと出会い、リチウムイオン電池を開発しました。

吉野彰さんに関する『ノーベル賞のレプリカ』などを、校長室の前に展示(～1月中旬)しております。子どもたちが、「興味のあることに、全力で取り組んでいく。」そんなきっかけになればと思っております。

1月の生活目標

「言葉づかいに気を付けよう」

生活指導部 管井 美佳

「言葉遣いは心遣い」というように、発せられる言葉はその人の人柄を表します。また、私たちが話す言葉は、使い方によって相手を幸せにしたり、ときには悲しませてしまったりします。言葉は人間の心を動かす力をもっています。どんなに仲のよい関係であっても、お互いに敬意を払って接することが大切です。周りへの心遣いを忘れず、友達や関わる人たちに対して温かい言葉かけができるように指導していきます。ご家庭でも、大人が手本となって正しい言葉づかいをするように、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1月の主な学校行事

スクールカウンセラー来校日→SC
外国人講師来校日 →ALT
PTA 校庭開放日 → 開

1	日	元日	
2	月	振替休業日	
3	火		
4	水		
5	木		
6	金	冬季休業日終	
7	土		
8	日		
9	月	成人の日	
10	火	始業式 午前授業 書き初め大会(3)	
11	水	給食始 書き初め大会(1・2・4・5・6) 発育測定(6)	
12	木	安全指導 発育測定(5)	ALT
13	金	発育測定(2) 補習教室 小連合書写展始	
14	土	ものづくりフォーラム	
15	日		開
16	月	校内書き初め展始 委員会活動 発育測定(3)	SC
17	火	避難訓練 発育測定(4) 補習教室	
18	水	小中一貫教育の日(仲六) 発育測定(1)	
19	木	下校指導(1) 小連合書写展終	ALT
20	金	5時間授業 読み聞かせ	ALT
21	土	土曜授業日 校内書き初め展終 土曜補習教室	
22	日		
23	月	クラブ活動	SC
24	火	補習教室	
25	水		ALT
26	木	社会科見学(3)	ALT
27	金	補習教室	ALT
28	土		
29	日		開
30	月	クラブ活動 クラブ見学(3)	SC
31	火	補習教室	

※感染症の拡大状況によって、行事が変更になることがあります。

自治体間交流活動

4年担任 管井 美佳

2022年12月1日(木)に4年生は、稲城市と府中市に社会科見学に行ってきました。稲城市の若葉台公園では、丘陵地の特徴、高低差のある公園内を散策したり、大きな広場で学級みんなで鬼ごっこをしました。その間に、校長先生が公園の近くにある稲城市立若葉台小学校へ手作りの六郷とんび凧と4年1組のみんなが書いたお手紙をもって、訪問しました。3学期には、若葉台小学校の4年生とリモートをつないで、稲城の特色を教えてください、大田区の特徴を伝えたりして交流する予定です。



☆児童の感想☆

- 丘陵地である稲城市は、坂がたくさんありました。自然も豊かで、今度は家族とも一緒に行きたいです。
- 若葉台公園では、稲城市のキャラクター「なしのすけ」のモチーフのベンチを見つけました。有名な稲城の梨も、実際に食べてみたいです。
- 府中市の「くらやみ祭り」をはじめて知りました。1000年以上も前からあるお祭りが、これから先も続いてほしいと思いました。

大田区小学生駅伝大会

体育行事委員会 増島 樹里

12月17日(土)に「大田区小学生駅伝大会」が大田スタジアムで開催されました。5・6年生の希望者が放課後に持久走の練習に取り組んできました。駅伝大会の候補に選出された児童も、そうでない児童も自身の体力を向上させようと最終日まで一生懸命に練習に取り組む姿がありました。体力を向上させるだけでなく、友達と支え合うことのよさを感じたり、学校の代表であり、伝統を受け継ぐ高学年としての自覚を高めたりと、たくさんのことを学ぶ機会となりました。

当日の本レースでは、33分5秒というすばらしい記録で完走することができました。保護者の皆様の声援が、選手の大きな励みになったことと思います。お忙しい中、たくさんの方に応援していただき、本当にありがとうございました。



学習発表会

文化的行事委員会 大橋 千晶

2月17日(金)と18日(土)は学習発表会を予定しています。昨年度は新型コロナの感染状況を鑑みて展示発表だけの「まとめ展」でしたが、今年度は舞台発表と公開授業も併せて行います。各学年、一年間の学習の成果として劇やスピーチ、合奏やダンスなどバラエティ豊かに計画しています。児童も参観者もゆったりと発表や鑑賞ができるよう、学年ごとに体育館で参観していただきます。図工や家庭科等の作品は昨年と同様に廊下の掲示板や多目的室に展示します。また、来年度への学びに繋がるようICT機器なども効果的に活用し、学年を超えて児童の相互鑑賞も行います。昨年度の「まとめ展」での参観の様子から“一緒に展示を見ることや参加型の取り組みがあることで、子ども同士や親子の対話が深まった”という感想が聞かれました。コロナ禍になって以来、マスクでお互いの表情もわかりづらく、密にならないよう友達との接触も憚られる日々が長く続きました。それに加え高学年になると思春期に入り、自ら学校でのことを家族に話すことも少なくなってきているのではないのでしょうか。家庭や教室での衝突も世界での紛争や戦争も、もとをたどれば対話が不足していることから始まっています。これからを生きる子ども達に大切なことは“お互いを認め合える対話力”であると位置づけ「対話が生まれる」ことにも意識して取り組みたいと思います。是非そのような視点でも参観いただき、ご家庭でもお子さんやお友達の発表や作品について楽しく対話するきっかけにしていただければ幸いです。

子ども達のありのままの発想や表現を尊重し、withコロナや多様性の時代にふさわしい発表スタイル、持続可能でより良い学校行事の在り方を日々、模索しています。

お知らせ

校内書き初め大会・校内書き初め展

1月10日、11日に校内書き初め大会を実施します。

書いた作品は、1月16日(月)~21日(土)まで、校内書き初め展として各教室の廊下に掲示しています。保護者の参観時間は16日(月)~20日(金)は、15:30~16:30、21日(土)は、13:00~16:30となります。

ぜひご参観ください。



大田区立小学校連合書写展

期日 1月13日(金)~19日(木)

会場 池上会館 展示ホール

時間 9:00~17:00

※最終日19日(木)は13:30までです。

※各学年の代表作品が2点ずつ出展されます。